

正解のない時代を、 どう生きる？

沼津がまるごと、子供たちの実験室になる。

令和10年度スタート！ 志うぜっし なんだ？

Q1 子供たちは何を学ぶの？

Q2 大人には何ができる？

Q3 いつから始まるの？



Q1 子供は何を学ぶの？

A1 子供は「好き」を見つけ、探究し、
失敗しながら学ぶ、そんな学びを始めます。
それが沼津市探究学習「志(こころざし)ラボ」。

【志(こころざし)ラボをする理由】

AIが当たり前になり、正解がひとつではない時代

そんな未来を生きる子供たちに
必要なのは、「自分で問いをつくり、
自分で答えを探す力」です。
その力を育むために、沼津市は
総合的な学習の時間を中心に
「志ラボ」を始めます。



「志ラボ」の「志」は、「これが好き」「これをやってみたい」そんな子供自身の気持ちの種。トライ&エラーをしながら、自分だけの「好き」を見つけたり、深めたりしていく実験室のような学習の時間です。それは、失敗しながらも「探究する学び方」を大切にしていける学習の時間です。

【例えば、どんなテーマ？】

例1 大好きな野球で、打球をもっと遠くへ飛ばせる方法は？【体育・理科】

例2 自分が書いたマンガを

たくさんの人に読んでもらうにはどうしたらいい？【美術・情報】

例3 沼津の魚をもっとおいしく調理する方法は？【家庭・理科・情報】

Q2 大人には何ができるの？

A2 教えるのは学校の先生だけではありません。
地域や学校からの声かけなどで
あなたが「伴走者」になることもあります。



学校の先生は「教える人」から「伴走者」へ

「志ラボ」を実施するにあたり、学校の先生たちの関わり方も変わっていきます。志ラボの時間は子供自身が納得できる答えに向かっていけるよう支え続けます。

「沼津の街をまるごと、学びのステージに」

「志ラボ」は、子供たちが「学校の外でも学ぶ」学びです。
だからこそ、沼津に暮らす市民の皆さんの力が必要です。
大人が関わることで、子供たちの学びは一気に深く、豊かになります。

皆さんがこれまで積み重ねてきた経験や見方が子供の学びの大きなヒントになります。自分の仕事や趣味について話す、子供の疑問に「それ面白いね!」と一緒に驚く。それだけで立派な「伴走者」です。



Q3 いつから、どの学校で始まるの？

A3 令和10年度から沼津市内全ての
市立小中学校で実施します。

令和8・9年度は準備を

令和8・9年度は市内で7校の小中学校がパイロット校となり、「志ラボ」の授業を実施します。またパイロット校でなくても、多くの学校で「探究」を意識した授業を行っています。こうした実践は市内で共有され、本格実施に向けての準備を進めます。

小・中・高とつなぐ学びのステージ



「志ラボ」では、沼津市立沼津高等学校や沼津工業高等専門学校（沼津高専）等も連携し、小中学生の探究活動を高校生がサポートしたり、高校生の姿を見て小中学生が刺激を受けたりする「世代を超えた学び合い」をつくります。

教育長からのショートメッセージ

「志ラボ」の主役は子供たちです。そして、その挑戦をあたたく支えるのは、学校、家庭、そして地域のみなさまで。大人も子供も一緒になって「わくわく」しながら学びを深める沼津の未来を、是非ともにつくっていきましょう。

沼津市教育長 奥村 篤

